



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1

www.aioinissaydowa.co.jp

**地域におけるCO₂排出量の削減を目指し、
株式会社地域エネルギー開発と資本業務提携を実施**

2023年6月30日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、地域におけるCO₂排出量の削減と廃棄物の再資源化を主な目的として、6月30日に株式会社地域エネルギー開発（以下、地域エネルギー開発）と資本業務提携を行いましたので、お知らせします。

1. 背景

近年、世界的にカーボンニュートラルに向けた取り組みが加速し、日本国内においてもCO₂排出量の削減が重要視されています。しかし、地方公共団体が住民から回収している都市廃棄物は、焼却処理時に多くのCO₂が排出されることから、廃棄物の削減や処理方法への工夫が求められています。

そのような中、地域エネルギー開発は、有機性廃棄物の焼却によって電力源となるカーボン燃料を生成し、CO₂排出量を削減できる機械「NECRES（ネクレス）^{※1}」を開発し、地方公共団体・企業への導入提案を行っています。

また、「地域密着」を行動指針の一つに掲げる当社は、全国473の地方公共団体（2023年5月時点）と連携協定を締結し、SDGsセミナーやカーボンニュートラルパッケージといったソリューションの提供によって、地域の脱炭素化を支援しています。

今般両社は、地域エネルギー開発の技術力と当社が全国に展開する地域ネットワーク網を掛け合わせ、地域におけるCO₂排出量の削減や廃棄物の再資源化を一層支援していくため、資本業務提携を行うこととしました。

※1 有機性廃棄物の処理の際、カーボン燃料を生成することによりCO₂排出量の削減効果がある独自技術

2. 資本業務提携の内容**(1) 出資の内容**

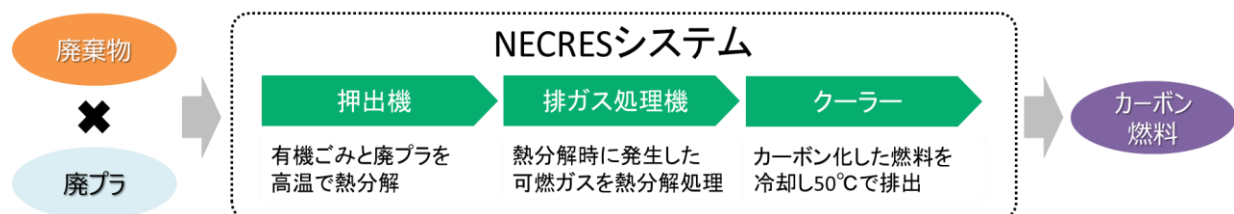
株式会社地域エネルギー開発が実施する第三者割当増資の一部を当社が引受

(2) 業務提携内容

実施領域	当社が連携協定を締結する地方公共団体や地域企業へネクレス事業を紹介
研究領域	ネクレス事業に関連する新たな保険商品およびサービスの開発

<NECRES（ネクレス）について>

ネクレスは、一般的なゴミ（廃棄物・廃プラ）を原料として、発電資源となるカーボン燃料の生成が可能です。また、一般的に廃棄物は焼却されるため処理の過程で大量のCO₂を排出しますが、ネクレスは焼却処理ではなく乾燥処理をするため、CO₂排出量が大幅に削減できます。


**<NECRES を活用した廃棄物の再資源化>**

3. 今後の展開

両社は、地方公共団体・地域企業の課題解決に資するソリューションの開発やスキーム構築を目指し、共同で取り組みを展開することで、地域のカーボンニュートラルを支援していきます。

以上

<参考>地域エネルギー開発について

企業名	株式会社地域エネルギー開発	
代表取締役社長	松下 敬通	
設立	2022年7月	
URL	https://www.regional-energy.co.jp	
所在地	東京都港区六本木一丁目6番1号	
事業内容	・地方公共団体との提携し、有機性廃棄物の再資源化・エネルギー化 ・地方都市に展開する大手企業出先工場との提携による工場廃棄物の再資源化・エネルギー化	

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組めます。

